

対象校No. 732

注4

学校コード F127310108009

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

大阪産業大学 建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人 大阪産業大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部（総務・企画課）

職名・氏名 カチヨウ ニシ タツヤ
課長・西 達也

電話番号 072-875-3001 (内線: 2013)

(夜間) 072-875-3002

e-mail soumu@cnt.osaka-sandai.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科 (平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
 - 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
 - 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 □□研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 □□研究科 □□専攻 (修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

建築・環境デザイン学部

ページ	<建築・環境デザイン学科>
3	1. 調査対象大学等の概要等
8	2. 授業科目の概要
17	3. 施設・設備の整備状況、経費
18	4. 既設大学等の状況
19	5. 教育研究実施組織の状況
57	6. 附帯事項等に対する履行状況等
58	7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 大阪産業大学

(2) 大 学 名

大阪産業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒574-8530
大阪府大東市中垣内3丁目1番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	(キタマエ マサト) 北前 雅人 (令和2年6月)		
学 長	(オガワ カズヒコ) 小川 和彦 (令和5年9月)		
学 部 長	未定	(ハマサキ タツヒデ) 濱崎 竜英 (令和7年4月)	届出書提出後に決定 (7)
学科長等	未定	(フナビキ エツコ) 船曳 悅子 (令和7年4月)	届出書提出後に決定 (7)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科 学士(工学)	工学関係	4年	165人	2年次 0人 3年次 3人 4年次 0人	666人	-	

(注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 - (-) [-]	165人	-															
志願者数	- (-) [-]	1,848人	-															
受験者数	- (-) [-]	1,776人	-															
合格者数	- (-) [-]	917人	-															
B 入学者数	- (-) [-]	185人	-															
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.12	-		

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・転入生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期									
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	185	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[26]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	185	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[26]	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

2 授業科目の概要

<建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員へ助手
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
フィールド教育科目	入門ゼミナー	1前	○	1			4		1		
	小計(1科目)	-	-	1	0	0	4	0	1	0	0
	くらしと環境のデザイン	1前	○	2			6	6	2		
	テクノロジーとデザイン	1前	○	2			7	4	1		
教養科目	小計(2科目)	-	-	4	0	0	13	10	1	0	0
	フィールド教育科目計(3科目)	-	-	5	0	0	13	10	3	0	0
教養教育科目	人文科学	1後			2						1
	哲学	1後			2						1
	地理学	1後			2						1
	小計(3科目)	-	-	0	6	0	0	0	0	0	3
	社会科学	1前			2						1
	現代の政治	1後			2						1
	経済学	1後			2						1
	心理学	1後			2						1
	小計(4科目)	-	-	0	8	0	0	0	0	0	4
	自然科学	1後			2		1				1
	環境科学	1後			2						1
	生命科学	1前			2						1
	現代数学入門	1後			2						1
	データサイエンスの基礎	1前			2						2
	小計(5科目)	-	-	0	10	0	1	0	0	0	5
	学際領域	1前			2						2
	平和学	1前			2						1
	テクニカルライティング	1前			2						1
	時事問題	1後			2						1
	外国の社会と文化	1前			2						1
	倫理学	1前			2						1
	科学技術史	1前			2						1
	小計(6科目)	-	-	0	12	0	0	0	0	0	7
	日本文化	1前			2						1
	日本事情1	1後			2						1
	日本事情2	1前			2						1
	日本の社会と文化1	1前			2						1
	日本の社会と文化2	1後			2						1
	小計(4科目)	-	-	0	8	0	0	0	0	0	2
	人間教育	1後			2						1
	教育原理	1前			2						2
	教育心理学	1前			2						1
	道徳教育の理論と方法	2後			2						2
	生涯学習論	2前			2						2
	人権教育	2後			2						1
	小計(5科目)	-	-	0	10	0	0	0	0	0	5
	教養教育科目計(27科目)	-	-	0	54	0	1	0	0	0	26
総合教育科目	英語	1前			1						2
	英語(Listening&Speaking)1	1後			1						2
	英語(Listening&Speaking)2	2前			1						4
	英語(Listening&Speaking)3	2後			1						4
	英語(Listening&Speaking)4	TOEIC上級(Listening)1			1						1
	TOEIC上級(Listening)2	2前			1						1
	英語(Reading&Writing)1	2後			1						2
	英語(Reading&Writing)2	1前			1						2
	英語(Reading&Writing)3	1後			1						2
	英語(Reading&Writing)4	2前			1						2
	TOEIC上級(Reading)1	2後			1						1
	TOEIC上級(Reading)2	1前			1						1
	英語総合(上級)1	2前			1						1
	英語総合(上級)2	3前			1						1
	英語海外研修	3後			1						2
	小計(15科目)	-	-	0	16	0	0	0	0	0	13
言語文化科目	初修外國語	1前			1						2
	初修外國語入門1	1後			1						2
	初修外國語入門2	2前			1						2
	初修外國語初級1	2後			1						2
	初修外國語初級2	3前			1						2
	初修外國語総合1	3後			1						2
	初修外國語総合2	2通			2						1
言語文化科目	小計(7科目)	-	-	0	8	0	0	0	0	0	6
	日本語	1前			1						1
	日本語読解1	1後			1						1
	日本語読解2	2前			1						1
	日本語作文1	1前			1						1
	日本語作文2	1後			1						1
	上級日本語読解1	2前			1						1
	上級日本語読解2	2後			1						1
言語文化科目	上級日本語作文1	2前			1						1
	上級日本語作文2	2後			1						1
	小計(8科目)	-	-	0	8	0	0	0	0	0	4
	言語文化科目計(30科目)	-	-	0	32	0	0	0	0	0	24
学身科科目	スポーツ科学実習	1前			1						1
	運動科学	1後			2						1
	小計(2科目)	-	-	0	3	0	0	0	0	0	1
	総合教育科目計(59科目)	-	-	0	89	0	14	10	3	0	50

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員へ助手
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
フィールド教育科目	入門ゼミナー	1前	○	1			4		1		
	小計(1科目)	-	-	1	0	0	4	0	1	0	0
	くらしと環境のデザイン	1前	○	2			6	6	2</td		

科目区分	授業科目的名称	配当年次	主要授業科目	単位数		基幹教員等の配置						基幹教員以外の教員（助手）	基幹教員以外の教員（助手）														
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手																
専門教育科目 講義科目	環境デザイン理論	1前	○	2	2	1	1						専門教育科目 講義科目	環境デザイン理論	1前	○	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	アート論	2前		2	2	1	1							アート論	2前	○	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	環境心理学	2前		2	2	1	1							環境心理学	2前	○	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	日本美術史	2後		2	2	1	1							日本美術史	2後	○	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	都市環境デザイン論	1前	○	2	2	1	1							都市環境デザイン論	1前	○	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築デザイン論	1前	○	2	2	1	1							建築デザイン論	1前	○	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ものデザイン論	1後	○	2	2	1	1							ものデザイン論	1後	○	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	インテリアデザイン論	2前		2	2	1	1							インテリアデザイン論	2前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	西洋建築・都市史	2前		2	2	1	1							西洋建築・都市史	2前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	日本建築史	2前		2	2	1	1							日本建築史	2前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築論	3前		2	2	1	1							建築論	3前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築計画論	1後		2	2	1	1							建築計画論	1後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築設備工学	2後		2	2	1	1							建築設備工学	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築環境工学	2後		2	2	1	1							建築環境工学	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築材料学	2後		2	2	1	1							建築材料学	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	施工法	3前		2	2	1	1							施工法	3前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築法規	3前		2	2	1	1							建築法規	3前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築構法	2前	○	2	2	1	3							建築構法	2前	○	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3
	構造工学1	2前	○	2	2	1	2							構造工学1	2前	○	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	構造工学2	2後	○	2	2	1	2							構造工学2	2後	○	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	構造計画論	3後	○	2	2	3	3							構造計画論	3後	○	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	構造材料学	3前		2	2	3	3							構造材料学	3前		2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	建設マネジメント	3後		2	2	1	1							建設マネジメント	3後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	交通システム工学	2前		2	2	1	1							交通システム工学	2前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	都市創造最前線	3後		2	2	2	2							都市創造最前線	3後		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	気象災害と防災	2後		2	2	2	4							気象災害と防災	2後		2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4
	地震災害と防災	3前		2	2	2	4							地震災害と防災	3前		2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4
	基礎数学および演習	2前		3	3	1	1							基礎数学および演習	2前		3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	代数学	2後		2	2	1	1							代数学	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	解析学	2後		2	2	1	1							解析学	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	基礎物理学および演習	2後		2	2	1	1							基礎物理学および演習	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	橋梁工学	3後		2	2	1	1							橋梁工学	3後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	都市情報分析	3前		2	2	1	1							都市情報分析	3前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	構造工学3	3前		2	2	1	2							構造工学3	3前		2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	地震工学	3後		2	2	1	1							地震工学	3後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	シミュレーション	2後		2	2	1	1							シミュレーション	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	土質力学1	2前		2	2	1	1							土質力学1	2前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	土質力学2	2後		2	2	1	1							土質力学2	2後		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	プログラミング	2前		2	2	1	1							プログラミング	2前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	土木計画学	3前		2	2	1	1							土木計画学	3前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建設施工学	3前		2	2	1	1							建設施工学	3前		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	測量学	2前																									

科目区分	授業科目的名称	配当年次	主要授業科目	単位数		基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実験科目	物理学実験	2前		2				1				2
	化学実験	2後		2			1					1
	地学実験	2後		2								1
	生物学実験	2後		2								2
	小計(4科目)	—	—	0	8	0	1	1	0	0	0	5
	建築設計製図法	1前	○	2			1					
PBL講義及び科目	デジタルプレゼンテーション論	1前	○	2			1					
	CAD・CG論	1前	○	2				1				
	データ分析入門	2前		2								
	キャリアデザイン1	2後		2								1
	キャリアデザイン2	3前		2								2
	小計(6科目)	—	—	2	10	0	1	1	0	0	0	3
専門教育科目	CAD・CG演習1	1後	○	2			1					1
	CAD・CG演習2	2前		2			1					1
	建築・環境デザイン基礎演習	1前	○	2			1	1	1			2
	建築・環境デザイン基礎演習	1後	○	2			1	2				2
	建築・環境デザイン基礎演習	1後	○	2			9	7	3			2
	ものデザイン演習1	2後		3			1					1
	ものデザイン演習2	3前		3			1					4
	ものデザイン演習3	3後		3			1					5
	建築デザイン演習1	2後		3			2	1	1			
	建築デザイン演習2	3前		3			1	1	1			
	建築デザイン演習3	3後		3			2	2	1			
	環境デザイン演習1	2後		3			2	2	1			
	環境デザイン演習2	3前		3			3	1	1			
	環境デザイン演習3	3後		3			1	2				1
	空間デザイン演習1	2後		3			1	2				
	空間デザイン演習2	3前		3			1	3				
	空間デザイン演習3	3後		3			1	4				
	自然デザイン演習1	2後		3			1	2	1			
	自然デザイン演習2	3前		3			1	3				
	自然デザイン演習3	3後		3			3	2	1			
	都市デザイン演習1	2後		3					1			
	都市デザイン演習2	3前		3			4	2				
	都市デザイン演習3	3後		3			4					
	データサイエンスの応用1	2前		2				1				
	データサイエンスの応用2	2後		2			1					
	プレ卒業研究	3後	○	2			17	13	4			
	建築・環境デザイン及び計画演習	4前	○	2			3	3	1			
	卒業研究	4通	○	4			17	13	4			
	小計(28科目)	—	—	14	62	0	17	13	4	0	0	14
	専門教育科目計(111科目)	—	—	18	225	0	17	13	4	0	0	38

科目区分	授業科目的名称	配当年次	主要授業科目	単位数		基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程の設置により開設する授業科目	職業指導	3通			4						1	
	工業科教育法1	3前			2						1	
	工業科教育法2	3後			2						1	
	理科教育法1	2前			2						1	
	理科教育法2	2後			2						2	
	理科教育法3	3前			2						1	
	理科教育法4	3後			2						2	
	教職入門	1前			2						3	
	教育制度論	2前			2						1	
	特別支援教育概論	2後			2						2	
	教育課程論	3前			2						1	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3後			2						2	
	教育方法論	1後			2						3	
	教育とICT活用	3通			1						1	
	生徒指導・進路指導論	2前			2						1	
	教育相談の理論と方法	2後			2						1	
	教育実習事前指導	3通			2						5	
	教育実習1	4前			2						5	
	教育実習2	4前			2						5	
	学校体験活動	3後			2						5	
	教職実践演習(中・高)	4後			2						5	
教職課程の設置により開設する授業科目計(21科目)	教職課程の設置により開設する授業科目計(21科目)	—	—	0	0	43	0	0	0	0	12	
	合計(194科目)	—	—	23	314	43	17	13	4	0	0	93

卒業要件及び履修方法

在学中に124単位を修得しなければならない。
(履修科目的登録の上限:48単位(年間))

【フィールド教育科目】
卒業要件単位数は5単位とする。

【総合教育科目】
卒業要件単位数は、教養教育科目、言語文化科目の英語より4単位以上

および身体科学科目を合わせて、20単位以上とする。

なお、留学生は、教養教育科目の日本文化より8単位、言語文化科目の

日本語より8単位および身体科学科目を合わせて20単位以上とし、英語の

単位を修得しなくてもよい。

教養教育科目の日本文化および言語文化科目の日本語の12科目は、

留学生のみ履修可能であり、留学生はこれらを必ず履修しなければならない。

【専門教育科目】

ものデザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目41単位および

選択科目58単位以上、合計99単位以上とする。

建築デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目73単位および

選択科目26単位以上、合計99単位以上とする。

環境デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目39単位、

選択必修科目10単位以上および選択科目50単位以上、合計99単位以上とする。

空間デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目49単位、

選択必修科目24単位以上および選択科目26単位以上、合計99単位以上とする。

自然デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目39単位、

選択必修科目16単位以上および選択科目44単位以上、合計99単位以上とする。

都市デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目59単位、

選択必修科目16単位以上および選択科目24単位以上、合計99単位以上とする。

本学科は、ものデザインコース、建築デザインコース、環境デザインコース、
空間デザインコース、自然デザインコース、都市デザインコースの6コースに
分かれている。コース毎の卒業要件は、次の通りとする。

科目区分	授業科目的名称	配当年次	主要授業科目	単位数		基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程の設置により開設する授業科目	職業指導	3通			4						1	
	工業科教育法1	3前			2						1	
	工業科教育法2	3後			2						1	
	理科教育法1	2前			2						1	
	理科教育法2	2後			2						2	
	理科教育法3	3前			2						1	
	理科教育法4	3後			2						2	
	教職入門	1前			2						3	
	教育制度論	2前			2						1	
	特別支援教育概論	2後			2						2	
	教育課程論	3前			2						1	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3後			2						2	
	教育方法論	1後			2						3	
	教育とICT活用	3通			1						1	
	生徒指導・進路指導論	2前			2						1	
	教育相談の理論と方法	2後			2						1	
	教育実習事前指導	3通			2						5	
	教育実習1	4前			2						5	
	教育実習2	4前			2						5	
	学校体験活動	3後			2						5	
	教職実践演習(中・高)	4後			2						5	
教職課程の設置により開設する授業科目計(21科目)	教職課程の設置により開設する授業科目計(21科目)	—	—	0	0	43	0	0	0	0	12	
	合計(194科目)	—	—	23	314	43	17	13	4	0	0	93

卒業要件及び履修方法

在学中に124単位を修得しなければならない。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【フィールド教育科目】
卒業要件単位数は5単位とする。

【総合教育科目】
卒業要件単位数は、教養教育科目、言語文化科目の英語より4単位以上

および身体科学科目を合わせて、20単位以上とする。

なお、留学生は、教養教育科目の日本文化より8単位、言語文化科目の

日本語より8単位および身体科学科目を合わせて20単位以上とし、英語の

単位を修得しなくてもよい。

教養教育科目の日本文化および言語文化科目の日本語の12科目は、

留学生のみ履修可能であり、留学生はこれらを必ず履修しなければならない。

【専門教育科目】

ものデザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目41単位および

選択科目58単位以上、合計99単位以上とする。

建築デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目73単位および

選択科目26単位以上、合計99単位以上とする。

環境デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目39単位、

選択必修科目10単位以上および選択科目50単位以上、合計99単位以上とする。

空間デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目49単位、

選択必修科目24単位以上および選択科目26単位以上、合計99単位以上とする。

自然デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目39単位、

選択必修科目16単位以上および選択科目44単位以上、合計99単位以上とする。

都市デザインコースの卒業要件単位数はコース必修科目59単位、

選択必修科目16単位以上および選択科目24単位以上、合計99単位以上とする。

本学科は、ものデザインコース、建築デザインコース、環境デザインコース、
空間デザインコース、自然デザインコース、都市デザインコースの6コースに
分かれている。コース毎の卒業要件は、次の通りとする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、
改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、
「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、
「基幹教員以外の教員（助手を除く）（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、
認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
(例：記載順) 【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・クラス編成の都合により、「入門ゼミナール」の教員の配置を「基幹教員 教授4、基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授5、基幹教員 講師1」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「くらしと環境のデザイン」の教員の配置を「基幹教員 教授6、基幹教員 准教授6、基幹教員 講師2」から「基幹教員 教授7、基幹教員 准教授6、基幹教員 講師1」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「日本国憲法」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「環境科学」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「環境科学」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「データサイエンスの基礎」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「平和学」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「平和学」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「テクニカルライティング」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「外国の社会と文化」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「科学技術史」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「日本事情1」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「日本事情2」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「教育心理学」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「英語 (Listening&Speaking) 1」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「英語 (Listening&Speaking) 2」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「英語 (Reading&Writing) 1」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「英語 (Reading&Writing) 2」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「初修外国語入門1」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員15」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「初修外国語入門2」の教員の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員15」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「日本語読解1」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「日本語読解2」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「日本語作文1」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「スポーツ科学実習」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「スポーツ科学実習」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・時間割編成による調整のため、「運動科学」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「運動科学」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・教員の昇任により、「環境デザイン理論」の教員の配置を「基幹教員 准教授1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「建築論」の教員の配置を「基幹教員 准教授1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「ランドスケープの歴史と計画」の教員の配置を「基幹教員 准教授1、基幹教員 講師1」から「基幹教員 准教授2」に変更。
- ・教員の昇任により、「緑化植物論」の教員の配置を「基幹教員 講師1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「廃棄物論」の教員の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「景観工学」の教員の配置を「基幹教員 教授1、基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授1、基幹教員 准教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「水生生物学」の教員の配置を「基幹教員 准教授1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「キャリアデザイン1」の教員の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「キャリアデザイン2」の教員の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「建築・環境デザイン基礎演習2」の教員の配置を「基幹教員 教授1、基幹教員 准教授2、基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 教授2、基幹教員 准教授1、基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「建築・環境デザイン基礎演習3」の教員の配置を「基幹教員 教授9、基幹教員 准教授7、基幹教員 講師3」から「基幹教員 教授7、基幹教員 准教授6、基幹教員 講師2、基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教員の昇任により、「建築デザイン演習3」の教員の配置を「基幹教員 准教授2、基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授1、基幹教員 准教授1、基幹教員 講師1」に変更。
- ・教員の昇任により、「環境デザイン演習1」の教員の配置を「基幹教員 教授2、基幹教員 准教授2、基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授3、基幹教員 准教授3」に変更。
- ・教員の昇任により、「環境デザイン演習2」の教員の配置を「基幹教員 准教授3、基幹教員 講師1」から「基幹教員 准教授4」に変更。
- ・教員の昇任により、「環境デザイン演習3」の教員の配置を「基幹教員 教授1、基幹教員 准教授2、基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授2、基幹教員 准教授2」に変更。
- ・教員の昇任により、「自然デザイン演習1」の教員の配置を「基幹教員 教授1、基幹教員 准教授2、基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授2、基幹教員 准教授2、基幹教員 講師1」に変更。
- ・教員の昇任により、「自然デザイン演習2」の教員の配置を「基幹教員 教授1、基幹教員 准教授3」から「基幹教員 教授2、基幹教員 准教授2」に変更。
- ・教員の昇任により、「自然デザイン演習3」の教員の配置を「基幹教員 教授3、基幹教員 准教授2」から「基幹教員 教授4、基幹教員 准教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「ブレ卒業研究」の教員の配置を「基幹教員 教授17、基幹教員 准教授13、基幹教員 講師4」から「基幹教員 教授19、基幹教員 准教授12、基幹教員 講師3」に変更。
- ・教員の昇任により、「建築・環境デザイン及び計画演習」の教員の配置を「基幹教員 教授3、基幹教員 准教授3、基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授4、基幹教員 准教授2、基幹教員 講師1」に変更。

注・2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

主要授業科目的変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の

適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、

兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員 1」から「基幹教員以外の教員 1」に変更）については、

記入しないでください。

・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	162 科目	21 科目	194 科目	11 科目 [0]	162 科目 [0]	21 科目 [0]	194 科目 [0]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、〔 〕内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、
学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{194} = \boxed{0\%}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考	
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大阪桐蔭高等学校 収容定員 2,160名 大阪桐蔭中学校 収容定員 600名 運動場の面積は8,400m ² 以上必要 大阪産業大学附属高等学校 収容定員2,280人 運動場の面積は8,400m ² 以上必要 未登記の建物について は、建築面積で記載して いる。また、校舎取壊し 後の空地を含む面積に 変更（7） 運動場用地を「校舎敷地」に含めて再計算 (7) 「共用するほかの学校等 の専用」面積の入力漏れ (7)	
	校舎敷地	95,778.75m ² 68,087.05m ²	68,968.73m ² 0.00m ²	42,792.49m ² 0.00m ²	207,539.67m ² 68,087.05m ²			
	その他	21,504.71m ² 21,469.49m ²	661.15m ² 89,951.63m ²	1,572.03m ² 0.00m ²	23,737.89m ² 111,421.12m ²			
	合計	117,283.46m ² 89,556.54m ²	69,629.88m ² 89,951.63m ²	44,364.52m ² 0.00m ²	231,277.86m ² 179,508.17m ²			
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		一部の建物について、容 積率算出のための面積で 繰り入れていたが、延べ 床面積に変更（7）		
	106,363.34m ² 106,344.14m ² (106,363.34m ²) ← 106,344.14m ²)	0.00m ² (0.00m ²)	0.00m ² (0.00m ²)	106,363.34m ² 106,344.14m ² (106,363.34m ²) ← 106,344.14m ²)				
(3) 教室・教員研究室		教室	393室 480室	教員研究室	37室 196室		設置届出時は大学全体の 教室数であったが、AO対 象学科が使用する教室に 変更（7）	
(4) 図書・設備	新設学部等 の名称	図書 〔うち外国書〕 冊		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		機械・器具 点	標本 点	
		電子図書 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	7 [6]	330 3,123	0 5	図書、学術雑誌、電子 ジャーナル等は、年度 予算における見直しに よる変更（7）	
	建築・環境 デザイン学部 建築・環境 デザイン学科	90,902 [16,722] 89,523 [16,716] (90,902 [16,722]) ← 89,523 [16,716])	247 [0] 202 [0] (247 [0]) ← 202 [0])	377 [217] 370 [211] (377 [217]) ← 370 [211])	7 [6] (7 [6])	330 (3,298) ← (3,123))	0 (5)	
	計	90,902 [16,722] 89,523 [16,716] (90,902 [16,722]) ← 89,523 [16,716])	247 [0] 202 [0] (247 [0]) ← 202 [0])	377 [217] 370 [211] (377 [217]) ← 370 [211])	7 [6] (7 [6])	330 (3,298) ← (3,123))	0 (5)	
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	※大学全体 体操体育館竣工によ る変更（7）			
		15,019.51m ² 14,178.11m ²	538.80m ²	4,104.95m ²	※大学全体 体操体育館竣工によ る変更（7）			
(6) 経費の見 積り及び 維持方法の 概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見 積り	教員1人当たり研究費等	652千円 660千円	652千円 660千円	図書購入費	34,771千円 35,330千円	35,320千円 35,330千円	
		共同研究費等	23,605千円 23,655千円	23,605千円 23,655千円	設備購入費	193,378千円 176,544千円	193,378千円 176,544千円	
		学生1人当たり 納付金	1,519千円 1,481千円	1,547千円 1,501千円	1,547千円 1,501千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等					

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び

「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・ 高等専門学校については「(3) 教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・ 国立大学については「(6) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪産業大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
国際学部	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	大阪府大東市中垣内3丁目1番1号				
国際学科	4	105	2	424	学士(国際学)	0.76	-	-	平成29	同上				
スポーツ健康学部	4	185	3年次2	654	-	1.04	1.02	令和7	平成29	-				
スポーツ健康学科	4	185	2	654	学士(体育学)	1.04	1.02	令和7	平成29	同上	令和7年度から入学定員変更(155→185)			
経営学部	4	500	3年次10	2,020	-	0.96	-	-	昭和40	-				
経営学科	4	300	5	1,210	学士(経営学)	0.96	-	-	昭和40	同上				
商学科	4	200	5	810	学士(経営学)	0.96	-	-	平成7	同上				
経済学部	4	500	3年次10	2,020	-	0.78	-	-	昭和61	-				
経済学科	4	250	5	1,010	学士(経済学)	0.81	-	-	昭和61	同上				
国際経済学科	4	250	5	1,010	学士(経済学)	0.76	-	-	平成11	同上				
情報デザイン学部	4	130	3年次0	130	-	0.98	-	令和7	令和7	-				
情報システム学科	4	130	0	130	学士(工学)	0.98	-	令和7	令和7	同上				
建築・環境デザイン学部	4	165	3年次0	165	-	1.12	1.12	令和7	令和7	-				
建築・環境デザイン学科	4	165	0	165	学士(工学)	1.12	1.12	令和7	令和7	同上				
システム工学部	4	240	3年次0	240	-	0.95	-	令和7	令和7	-				
システム工学科	4	240	0	240	学士(工学)	0.95	-	令和7	令和7	同上				
デザイン工学部	4	-	3年次6	930		0.91	-	-	-	-				
情報システム学科	4	-	2	319	学士(工学)	1.08	0.98	-	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
建築・環境デザイン学科	4	-	2	352	学士(工学)	0.98	-	-	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
環境理工学科	4	-	2	259	学士(理工学)	0.63	-	-	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
工学部	4	-	3年次8	1,246		0.73	-	-	-	-				
機械工学科	4	-	2	319	学士(工学)	0.78	-	-	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
交通機械工学科	4	-	2	319	学士(工学)	0.74	-	-	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
都市創造工学科	4	-	2	304	学士(工学)	0.56	-	-	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
電気電子情報工学科	4	-	2	304	学士(工学)	0.83	-	-	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
大学全体	-	1,825	3年次38	7,829	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、

・入学定員超過率及び収容定員充足率が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定してください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに課程認定等によりコース・組織に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A-Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率が1.00倍を超える場合」「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」には、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要があります。

・備考欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定により設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の実施計画
届出時 (令和6年)	<p>・デザイン工学部環境理工学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・工学部都市創造工学科の収容定員未充足の是正に努めること。</p>	<p>・デザイン工学部環境理工学科は令和7年度より学生募集を停止している。 ・工学部都市創造工学科は令和7年度より学生募集を停止している。</p> <p>【認可】 遵守事項</p>	<p>・デザイン工学部環境理工学科及び工学部都市創造工学科を「基礎となる学部」として令和7年度より新設された「建築・環境デザイン学部建築・環境デザイン学科」において、収容定員を減員すると共に、下記の取り組みにより収容定員充足を目指す。</p> <p>【学生確保に向けた取り組み】 もの・環境・都市空間に対する広い視野を持った、これから時代に必要とされる実務的なデザイナーの養成を目指す本学科について、特色ある取り組みや社会的な意義について、積極的かつ適切な方法により、様々なガイドラインや受験媒体誌・Web等を通じて、受験生・保護者、高校等に発信・広報を行う。</p> <p>履行済</p>

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) • 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部等における教育研究活動について、方針・計画の設定、実行、評価及び改善の一連のプロセスが適切に展開するよう、全学的な教学マネジメントの観点から内部質保証を推進し、大学の教育研究水準の向上を図ることを目的として、内部質保証推進委員会を設置している。
当委員会は、その下にFD部会、SD部会を置き、FD・SDの実施に関わる業務を付託している。

添付資料：大阪産業大学内部質保証推進委員会規程

添付資料：内部質保証推進委員会部会に関する申し合わせ

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

内部質保証推進委員会は、毎月1回開催する。（教員計43名）

FD部会、SD部会については、委員会からの業務付託を受け、適宜開催する。

c 委員会の審議事項等

（内部質保証推進委員会）

（1）内部質保証推進に関する事項

（2）自己点検・評価に関する事項

（3）教学マネジメントに関する事項

（4）その他委員会の目的を達成するために必要な事項

（内部質保証推進委員会FD部会）

（1）全学的なFD実施計画の策定

（2）全学的なFD研修の企画・運営

（3）各学部・研究科等におけるFDの管理・把握

（4）FDの評価

（内部質保証推進委員会SD部会）

（1）全学的なSD実施計画の策定

（2）全学的なSD研修の企画・運営

（3）各学部・研究科等におけるSDの管理・把握

（4）SDの評価

② 実施状況

a 実施内容

(FD活動)

- (1) 各学部等の組織において年1回以上、FD研修を行う。
- (2) 全学的なFD研修を開催する。
- (3) 全教職員に教育FD動画コンテンツを紹介する。

(SD活動)

- (1) 全学的なSD研修会を実施する。
- (2) 競争的研究費等応募資格のある研究者及び競争的研究費等に関わる事務職員を対象に研究倫理・コンプライアンス教育を実施する。
- (3) 科研費予算執行説明会および科研費の獲得に向けての研修（科研費獲得セミナー）を実施する。
- (4) 全教職員に研修に係る動画コンテンツを紹介する。

b 実施方法

(FD活動)

【各学部等のFD研修】

- (1) 各学部等から、内部質保証推進委員会に対して当該年度のFD活動計画を提出
- (2) 各学部等にて実施
- (3) 各学部等から、内部質保証推進委員会に対して当該年度のFD活動実施結果を報告

【全学的なFD研修】

- (1) 極力多くの教育職員が参加できるよう開催日程を設定
- (2) 所管する委員会や教授会・研究科委員会等で周知。その他、メール等で周知
- (3) 全教育職員および全事務職員を対象に実施
- (4) 全教育職員および全事務職員に対して、オンデマンド動画とその視聴方法をEメールで案内

(SD活動)

【全学的なSD研修】

- (1) 極力多くの教育職員が参加できるよう開催日程を設定
- (2) 内部質保証推進委員会や教授会・研究科委員会等で周知。その他、メール等で周知
- (3) 全教育職員および全事務職員を対象に実施
- (4) 全教育職員および全事務職員に対して、オンデマンド動画とその視聴方法をEメールで案内

【研究倫理・コンプライアンス研修】

eラーニング形式で実施している。一般財団法人公正研究推進協会「eAPRIN」とロバスト・ジャパン株式会社「研究倫理・コンプライアンス研修」を隔年実施。

【科研費予算執行説明会、科研費獲得セミナー】

科研費予算執行説明会：採択教員を対象に、動画コンテンツによる説明を実施

科研費獲得セミナー：応募予定教員を対象に、オンライン形式で研修を実施（オンデマンド視聴可）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（FD活動）

- (1) 令和6年6月11日 デザイン工学部（前身学部）でFD研修実施
内容：緑地マネジメント演習におけるアクティブラーニングの実施について
(参加者40名)

- (2) 令和6年7月30日 「授業で合理的配慮を提供するために知っておきたいこと
～改正障害者差別解消法の施行を踏まえて～」
(対面参加者数10名、オンデマンド視聴者数24名【教員】)

（SD活動）

【全学的なSD研修】

- (1) 令和6年5月16日 「LGBTQ+とダイバーシティ 多様な人々がもつ「差異」を「彩」に変えていく社会に」
(対面参加者数7名、オンデマンド視聴者数168名【教員】)

- (2) 令和6年7月30日 「建学の精神「偉大なる平凡人たれ」を考える ～「偉大さ」と「平凡人」の融合は矛盾しているか」
(対面参加者数9名、オンライン視聴者数25名、オンデマンド視聴者数27名【教員】)

- (3) 令和6年9月～11月 後期人権問題研修会（テーマ別小規模対面研13コマ）

①SOGI(性的指向・性自認)、②ハラスメント（一般職員向け）、③育児＆介護、
④部落差別、⑤ハラスメント、⑥多文化共生、⑦男女共同参画、⑧インターネットと人権
⑨障がい、⑩環境と人権、⑪戦争と平和、⑫学生相談の現場から、⑬D&I検定 受検者のつどい

【研究倫理・コンプライアンス研修】

令和6年度

令和6年7月30日（火）～研究倫理・コンプライアンス研修を実施
対象（教育職員）213名全員受講（事務職員）71名全員受講

令和7年度

開催時期未定

【科研費予算執行説明会、科研費獲得セミナー】

令和6年度

科研費予算執行説明会：令和6年8月1日～令和6年9月30日 対象者69名受講率100%

科研費獲得セミナー：令和6年6月25日～7月23日 5回開催 延べ参加人数48名（オンライン含まず）

令和7年度

科研費予算執行説明会：令和7年8月上旬から9月下旬にかけて実施予定

科研費獲得セミナー：令和7年6月中旬から7月下旬にかけて開催予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD研修・SD研修の実施内容を踏まえ、学長が各組織に対し授業の質を向上させることを求めた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年2回実施（前期7・8月、後期12・1月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケートの集計結果およびそれを受けた教員による所見書を、学内限定公開用のWebサイトに掲載
・アンケート結果に基づいて、学生から高い評価を得た教員を表彰し、表彰式の様子を一般公開するとともに、学内限定公開用のWebサイトにも資料を掲載
・設問別の実施結果報告書および分析結果をWEBサイトに公開

（注）「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置趣旨・目的達成に向け、第1年次教育課程を計画通り実施する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年10月上旬に公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書をまとめ、大学WEBサイト上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・現在、公益財団法人大学基準協会による令和4年度大学評価（認証評価）の結果、同協会の大学基準に

適合していると認定を受けている。認定期間は、令和5年4月1日～令和12年3月31日までである。

・令和11年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審する予定である。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有]

[無]

※ a で「有」の場合

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後 1ヶ月以内]

[公表後 2～3ヶ月以内]

[公表後 3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

[その他 ()]

※ a で公表「無」の場合

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。